

評価項目一覧表(二次審査)

一次審査を通過者について、提案課題に対する提案書のプレゼンテーション及びヒアリングを行う。

1 二次審査評価

二次審査評価点は、下記の配点の合計で評価する。(配点×評価係数)

評価項目		評価事項	配点
取組意欲		ヒアリングにより評価する。 当該業務を実施するうえで課題や問題点を把握しており、積極的に取り組む姿勢・意見の集約力・コミュニケーション能力等が優れている場合に優位に評価する。	10
業務の実施方法及び手法（評価に当たっては、技術提案書の内容及びヒアリングの結果により、総合判断する。）	業務の理解度	業務内容、業務の背景等への理解が高い場合に優位に評価する。	7
	業務の実施方針及び計画	業務への取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項等について（ただし、提案テーマに対する内容を除く）、的確性、独創性、実現性等を総合評価する。	10
	技術提案テーマ①	その的確性（与条件との整合性が取れているか等）、独創性（工学的見地に基づく独創的な提案がなされているか等）、実現性（提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）を考慮して総合的に評価する	12
	技術提案テーマ②		12
	技術提案テーマ③		12
技術提案テーマ④	12		
合 計			75

(1) 二次審査の評価は、下記の評価基準により評価する。

評価	評価基準	評価係数
A	優良	1.0
B	良好	0.8
C	やや良好	0.6
D	普通	0.4
E	不十分	0

ア 技術提案書の評価事項（配点×評価係数）

提出された技術提案書に対して「業務の理解度」「的確性（与条件との整合性がとれているか等）」「独創性（将来を見据えた独創的な提案がされているか等）」「実現性（提案内容が理論裏づけられており、説得力のある提案になっているか等）」を考慮して総合的に評価する。

(2) 最優秀者、次点者の特定

最優秀者、次点者の特定は、下記の計算の合計で評価する。

$$(100 \text{ 点}) = \text{一次審査評価点 (25 点)} + \text{二次審査評価 (75 点)}$$

(3) 評価点が同一になった場合

評価点が同一になった場合は、選考委員会の定める方式により最優秀者を決定するものとする。